

兵庫2030年の展望（仮称）叩き台

平成29年10月26日 ヒジヨシ課

I 策定趣旨

■ 長期にわたる人口減少

- 人口減少は今後数十年にわたって継続
- 暮らしや地域・産業構造が大きく変容しうる時代を前に、将来の不透明感が拡大

■ 未来を拓く展望の共有

- 不透明感が広がる今こそ、未来を拓く展望を広く共有することが重要
- 75歳以上の高齢者がピークに達するなど、社会が大きく変化していく2030年頃を見通し、「兵庫2030年の展望（仮称）」として取りまとめ

■ 長期ビジョンと地域創生戦略をつなぐ

- 2040年を目標年次とする「21世紀兵庫長期ビジョン」と2020年を目標年次とする「兵庫県地域創生戦略」をつなぐ役割

II 2030年に向けた環境変化

1 人口減少と少子高齢化の進行

総人口	2015年	2030年
人口	553万人	527万人
年少人口(0~14歳)	71万人	66万人
(総人口に占める割合)	13%	13%
生産年齢人口(15~64歳)	328万人	302万人
(同)	59%	57%
拡大生産年齢人口(15~74歳)	413万人	363万人
(同)	75%	69%
後期高齢者人口(75歳以上)	69万人	98万人
(同)	12%	18%

※2030年人口は、地域別年齢構成に基づき推計・社会福祉院の人口(2060年)450万人をベース

2 働き方の変革と生まれるゆとり時間

■ 働き方の多様化

- ICTを活用したテレワーク（サテライトオフィス、在宅勤務等）が広く普及
- 兼業・副業を認める企業が拡大
- ライフスタイルに合わせて働くフリーランスが増加
- 事業立ち上げコストの低下等により起業が増加

■ 拡がるワーク・ライフ・バランスの取組

企業名	取組内容
川崎重工業	全社員の半額を超過する約9000人が利用可能な在宅勤務制度を2019年1月に導入
モロゾフ	ジョイントタイム社員制度を設け、生活に合わせた働き方を実現
三ツ星ベルト	小学生以下の子どもをもつ共働き世帯等が利用できる最大12日間の「お星さま休暇」を創設

3 経済環境の構造的変化

■ 成長する次世代産業

産業	2015年	2030年
航空機産業	1.8兆円	3兆円
ロボット	1.6兆円	7兆円
水素エネルギー	-	1兆円

■ 就業者数の減少

2015年	2030年
256万人	251万人
228万人	228万人

(女性・高齢者)
(高齢者)
(高齢者)
(高齢者)

4 巨大災害の懸念と対策

■ 巨大地震の発生確率

【南海トラフ地震の発生の可能性】

- 地震の規模 M8~9クラス
- 発生確率 30年以内に70%

■ 地震・津波対策の進展

【対策後】

- 建物全壊棟数 3.7万棟
- 死者数 29,100人

※阪神・淡路大震災、東海・東南海トラフ地震の要綱に基づき算出(死者は推定)

5 大交流時代の到来

■ 外国人旅行者の増加

2015年	2030年
128万人	370万人

■ 都市農村の対流の拡大

2005年	2014年
30代 17%	33%
40代 16%	35%

■ 陸海空の交通インフラの充実

区分	内容
道路	・山陰近畿自動車道浜坂道路、新名神高速道路(2017年度完成) ・中国横断自動車道姫路高取線(2020年度完成) ・大阪湾道路西伸(六甲アライメント北~駒系、名神湾岸連絡線、山陰近畿自動車道浜坂道路立期、北近畿豊岡自動車道[日高神鍋高取~豊岡]、東播磨道(2030年頃までの完成))
空港	・山陰近畿自動車道(全線)、北近畿豊岡自動車道(全線)、神戸西バババ、播磨臨海地域道路(早期完成に向けた整備推進)
港湾	・関西3空港の一体運営、伊丹・神戸の国際化の推進
鉄道	・神戸港の国際戦略港湾としての競争力強化に向けた整備整備 ・リニア中央新幹線 名古屋~大阪間(2037年度開業想定) ^(8年開業の意向) ・北陸新幹線 敦賀~大阪間(リニアとの同時開業に向け努力)

III 基本方針

1 「暮らしの質」を追求する兵庫モデルの構築

【キーワード】 健康寿命、介護基盤、ワーク・ライフ・バランス、環境、楽農生活、防災力等

2 「未来の活力」への投資

【キーワード】 子育て環境、人づくり、起業、イノベーション、科学技術等

3 「ダイナミックな交流」の拡大

【キーワード】 観光交流、二地域居住、交通インフラ、アジア等との経済交流等

IV 兵庫の2030年の姿

1 充実する「自分時間」

2 希望が叶う出産・子育て

3 健康長寿で安心な暮らし

4 高まる防災力と復元力

5 自然と調和した環境先進地

6 情熱と才能が輝く人づくり

7 人と技術の共進化が生む経済活力

8 人材力を高める新しい働き方

9 世界が食す御食国のめぐみ

10 人と元気が行き交う五国

■ 第4次産業革命の進展

- AI(人工知能)、ロボット等の革新技術の浸透
- AI・ロボットでは対応できない対人サービス等での役割が増大

■ 本格的な水素社会の到来

- 【2030年頃の普及イメージ】(ロードマップ)
- 発電事業用水素発電の本格導入、ハイブリッドによる水素輸送
- 海外からの未利用エネルギー由来水素の製造、輸送・貯蔵の本格化

■ 巨大なアジア中間層マーケットの出現

アジア新興国において消費 2014年 19億人 → 2030年 34億人
支出4\$/人・日以上の人口

■ 多発する豪雨と対策の進展

1時間80mm以上の降水発生 2006~2015年 10.7回 → 18.0回
回数(全国年平均)

2014年 2018年
治山ダム整備 400人
かき分け(総計) 895基 → 1,342基

1 充実する「自分時間」

2030年の姿

- ① 「自分時間」の増加
 - ・ ワーク・ライフ・バランスの実現、「時短家電」の普及、育児・介護の環境整備等により、仕事や家事に拘束されない「自分時間」が増加
- ② 充実した「自分時間」を過ごす県民が拡大
 - ・ 増加する「自分時間」の充実度が、人生の満足感や住む場所の選択に大きく影響する時代となり、次のような活動に取り組む県民が増加
 - ・ 年齢にかかわらずスポーツを楽しむ県民、芸術・文化に親しむ県民
 - ・ 都市と農村の近接性を生かして気軽に農を楽しむ県民
 - ・ コミュニティ活動やボランティア活動、生涯の学び等を楽しむ県民 等
- ③ 兵庫への転入者の増加
 - ・ 「自分時間」の充実によって県民の暮らしの質が高まるとともに、兵庫ならではの豊かな過ごし方を求めて転入者が増加



神戸マラソン



県立芸術文化センター



移住相談に応じる地域住民

2 希望が叶う出産・子育て

2030年の姿

- ① 希望どおりの年齢での結婚が実現
 - ・ 若者のキャリア形成や非正規雇用の待遇改善が進み、経済的基盤が強化
 - ・ 男女の出会いの機会の充実
- ② 希望どおりに子どもを産み育てられる環境が整備
 - ・ 保育所や放課後児童クラブの拡大等により、待機児童や「小1の壁」が解消
 - ・ ひとり親家庭や多子世帯等への支援が充実
 - ・ 小児・周産期医療体制の充実など、安心して産み育てられる環境が整備
- ③ 職場や地域が子育てを支え、仕事と生活が調和
 - ・ 長時間労働の是正やテレワークの浸透など、子育てしやすい就業環境が整備
 - ・ 家族ぐるみ、地域ぐるみの子育てが拡大



子育て圏Vの集まり



地域におけることもへへの七夕に関するワークショップ

3 健康長寿で安心な暮らし

2030年の姿

- ① 健康づくりや次世代医療の広がりにより、健康寿命が延伸
 - ・ 気軽に運動や介護予防に取り組める環境が整い、たれもが健康づくりを実践
 - ・ がんや認知症等の発症を予防する先制医療など、次世代医療が普及
- ② 住み慣れた地域で介護・医療サービスを受けられる環境が整備
 - ・ 医療・介護・住まい等の連携したサービス提供体制が実現
 - ・ 介護施設の増設や24時間対応の在宅サービスの充実、病床の適正配置等が実現
 - ・ 高齢者の暮らしや介護現場を支える介護ロボットの普及
- ③ 認知症など支援が必要になっても、平常時・災害時ともに安全安心が確保
 - ・ 地域の様々な主体が関わる地域ぐるみの見守り体制が構築
 - ・ 災害時における要援護者対策等が進展



健康体操の風景



介護負担の軽減に役立つウェアアシストスーツ

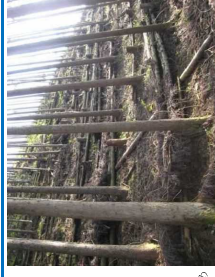


コミュニケーションロボットを世のたレタリユージョ

4 高まる防災力と復元力

2030年の姿

- ① ハード・ソフトの事前対策が進展し、防災・減災力が強化
 - ・ 建物の耐震化、水門や防潮堤の整備、総合的な治水対策、災害に強い森づくり、治山ダム・砂防えん堤の整備等が進展し、災害に強い県土が形成
 - ・ 自主防災組織の強化、災害時要援護者の避難体制の整備が進み、地域防災力が向上
- ② 災害からの復元力が向上
 - ・ 自治体の事前対策から復興までのシナリオづくり、企業の事業継続計画 (BCP) の策定など、早期の復旧・復興の取組が進展し、社会全体の復元力が向上
- ③ 防災先進県の知が国内外に浸透
 - ・ 兵庫で学んだ防災の専門人材が国内外で活躍
 - ・ 阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえた被災地支援が展開



「災害に強い森づくり」で整備された土留め

防災訓練

人と防災未来センター現地支援 (熊本県)

5 自然と調和した環境先進地

2030年の姿

- ① 低炭素型のライフスタイル・産業活動が定着**
 - 多消費型のライフスタイルや生産工程の改善など、温室効果ガス排出の少ない活動が定着
 - 再生可能エネルギーの拡大やCO₂フリー水素の導入など、温室効果ガスを出さないエネルギーづくりが推進
 - パリ協定を踏まえた温室効果ガス削減目標（2030年度に2013年度比26.5%削減）が実現
- ② 人と自然が共生**
 - 野生動物の適正な保護管理により、人と野生動物との調和のとれた共存が実現
 - 貴重な動植物が保全され、兵庫の豊かな生物多様性が維持
 - 兵庫の自然を楽しむ観光客が国内外から数多く訪問し、「環境観光産業」として発展
- ③ 兵庫の豊かな森林が多面的機能を最大限に発揮**
 - 森林の適切な管理が進み、CO₂吸収源としての機能を発揮
 - 県産木材の建築用材やバイオマス資源としての活用が拡大。CLT工法やセルロースナノファイバーなど、新たな用途での利用も進展
 - 災害緩衝林の造成や簡易流木止め施設の設置等の取組が進み、流木・土石流の発生を抑制



野生動物が健やかなコウノトリ



CLT（直交集成材）を使用した木造建築物

6 情熱と才能が輝く人づくり

2030年の姿

- ① 未来を主体的に選択し、自立して挑戦する人材を輩出**
 - 将来就きたい職業やめざす目標をもって主体的に進路を選択し、具体的な計画を立てながら自立して未来に挑戦していく人材を輩出
 - チャレンジ精神や創造性、コミュニケーション能力など、AI（人工知能）が社会に浸透する中でより強く求められる能力が向上
- ② 地域への誇りや愛着を持った次代の担い手を輩出**
 - 地域への愛着や誇りを持ち、地域の抱える課題やその中で自ら果たす役割を考え、行動する人材を輩出
- ③ グローバルな共生力・協調性を身につけ世界で活躍する人材を輩出**
 - 多文化共生の意義を深く理解した人材、世界の課題解決に貢献する人材を輩出
- ④ 一人ひとりの子どもが愛情に包まれ、安心して暮らし、学べる環境が実現**
 - いじめや不登校が解消されるとともに、虐待や貧困の世代間連鎖が断ち切れ、すべての子どもたちが安心して暮らし、学んで、自己の才能を開花



数学・理科甲子園に挑戦する高校生



地域課題解決のためのフィールドワーク



外国人生徒とのディスカッション

7 人と技術の共進化が生む経済活力

2030年の姿

- ① ものづくり産業が革新技術や科学技術基盤を生かしながら持続的に発展**
 - 本県の強みであるものづくり産業が、厚みのある技術力や科学技術基盤を活用し、航空機、水素エネルギー、ロボット、先端医療等の次世代産業分野への進出を加速させて発展
 - 第4次産業革命で生まれる革新技術が浸透し、人はAI・ロボットでは対応できない対人サービス等の分野において役割が増大
- ② 地域産業がブランド力を高め地域経済を活性化**
 - オンラインワンの技術で世界を相手に活躍する中小企業が増加
 - ブランド力をもった地場産業が拡大するアジア消費市場など国内外の販路を拡大
- ③ 高齢者の暮らしを支える産業が拡大**
 - 高齢者ニーズに対応した生活支援産業が拡大

【図表7-1】革新技術を生かしたサービス等

共通基盤技術	サービス・技術例
IoT	あらゆるモノがネットワークでつながる
AI（人工知能）	機械自らが学習し高度な判断を実施 多様な複雑な作業を自動化
ロボット	個人にカスタマイズされた予防医療 無人物流・無人配達 無人自動車による移動サービス 栽培技術のデータ化による高度な精密農業

出典：ヒューマン・マシン・ロボット連携

【図表7-2】高齢者の暮らしを支える産業

医療・介護分野のサービス	介護・福祉サービス
・遠隔医療サービス ・見守り ・創薬・再生医療 等	・ユニバーサル旅行 ・健康増進サービス ・自動運転車 等

出典：NHK出版「ユビバックス」で日本は変わる(2017)を基にしたシミュレーション

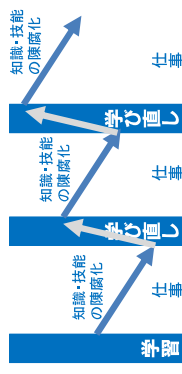
8 人材力を高める新しい働き方

2030年の姿

- ① 個人のライフスタイルに応じた柔軟な働き方が実現**
 - 短時間・在宅勤務、サテライトオフィスでの勤務等が広がり、時間・空間にとらわれない、ライフスタイルに応じた多様な働き方が実現
- ② 生涯現役で活躍するシニアが増加**
 - 豊富な経験や人脈を生かした高齢者が、必要な学び直しもしながら企業や地域で活躍
- ③ 「人生複線化社会」**
 - 兼業・副業など、キャリアの複線化が容易な社会が実現
- ④ 起業が当たり前となる社会**
 - 立ち上げ費用の低下、資金調達手段の多様化、電子商取引の拡大等により、起業が大幅に増加。スタート時から世界の市場を取り込むビジネスも誕生
 - 再起業の際の資金調達手段の充実や起業経験者を採用する企業の増加等、起業に失敗しても何度でもチャレンジできる社会が実現



テレワークで働く社員（県内日用品卸売メーカー）



9 世界が食す御食国のめぐみ

2030年の姿

① 農業の生産体制が強化され、持続的に発展

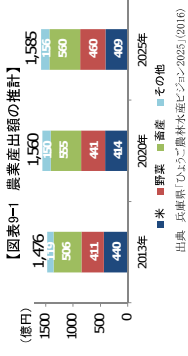
- 都市近郊の立地等の強みを生かした農業が展開
- 経営体の組織化・法人化が進むとともに、不耕作農地の活用や、付加価値を高める農地の高度利用が進展
- 施設園芸における環境制御技術の普及や自動走行トラクターの導入など、農のスマート化が進む
- 楽農生活が広がり、遊休農地の活用や農に親しむ県民が増加

② 県産ブランド品が拡大

- ブラチバナドワや温室パナナなど付加価値の高い県産ブランド品が数多く誕生し、国内外の需要を獲得
- 畜産農家の規模拡大など、ブランド製品の需要増に応じた安定的な生産体制が確立

③ 豊かな海が再生し、水産業が活性化

- 藻場等の保全・回復や漁場整備開発等が進展
- 養殖業の導入が進み、収益性の高い漁業が実現

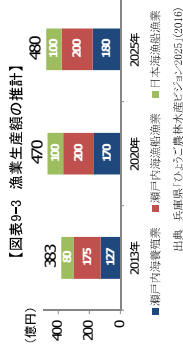


【図表9-2 農業構造の展望】

総農家は減少するが、担い手農家は増加、担い手農家への農地集積シェアは拡大

年	総農家 (農地面積)	うち、担い手農家戸数 (担い手農家の農地面積シェア)
2014	94,549戸 (75,800ha)	40,050戸 (22,700ha・30%)
2025	61,500戸 (75,800ha)	48,500戸 (50,000ha・66%)

※担い手農家は若年層の個別経営体、集落営農組織、農業参入企業等の法人経営体
出典 兵庫県「ひょうご農林水産ビジョン2025」(2016)



2030年の姿（にぎわいの続くまち・地域）

① 都市間競争力が高まる都市中心部

- 三宮の再開発など、商業・文化・交流機能が集積し、都市の魅力が高まり競争力が強化
- 基幹産業やベンチャー企業、研究機関などで多様な人々が働き、活力を創出

② 多世代の混住化が進む郊外住宅地（ニュータウン）

- 三世代近居を求めめる子育て世代や大学生の近居等により、多世代によるコミュニティが実現
- 空き店舗を活用した趣味活動やチャレンジジョブの開業等により、地域内の交流が拡大

③ 生活サービスや交通の拠点となる地方都市

- 商店や医療機関が維持され、周辺集落からの購買等の中心地になるとともに、広域交通と地域交通の結節点としての機能も強化
- まちなかの空き家が住戸やオフィス、観光施設等として再生し、職住近接の環境が整備

④ 交流で賑わう多自然地域の集落

- ネット通販や遠隔診療、電子マネーの普及等により、利便性の高い暮らしが実現
- 幹線道路を走る民間バスと集落を走るコミュニティバスなど、自動運転技術も活用した多様な公共交通網が整備され、住民の足が確保
- 空き家・廃校舎等が二地域居住や交流の拠点として再生し、賑わいを創出



廃校を活用したオフィス（篠文市）



古民家を活用したホテル（熊山市の熊藩丸山）



自動運転バス（横浜市内の実証実験車両）

9 世界が食す御食国のめぐみ

2030年の姿

① 農業の生産体制が強化され、持続的に発展

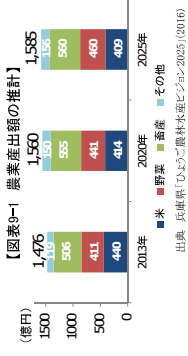
- 都市近郊の立地等の強みを生かした農業が展開
- 経営体の組織化・法人化が進むとともに、不耕作農地の活用や、付加価値を高める農地の高度利用が進展
- 施設園芸における環境制御技術の普及や自動走行トラクターの導入など、農のスマート化が進む
- 楽農生活が広がり、遊休農地の活用や農に親しむ県民が増加

② 県産ブランド品が拡大

- ブラチバナドワや温室パナナなど付加価値の高い県産ブランド品が数多く誕生し、国内外の需要を獲得
- 畜産農家の規模拡大など、ブランド製品の需要増に応じた安定的な生産体制が確立

③ 豊かな海が再生し、水産業が活性化

- 藻場等の保全・回復や漁場整備開発等が進展
- 養殖業の導入が進み、収益性の高い漁業が実現

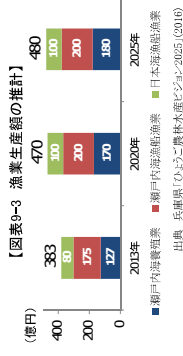


【図表9-2 農業構造の展望】

総農家は減少するが、担い手農家は増加、担い手農家への農地集積シェアは拡大

年	総農家 (農地面積)	うち、担い手農家戸数 (担い手農家の農地面積シェア)
2014	94,549戸 (75,800ha)	40,050戸 (22,700ha・30%)
2025	61,500戸 (75,800ha)	48,500戸 (50,000ha・66%)

※担い手農家は若年層の個別経営体、集落営農組織、農業参入企業等の法人経営体
出典 兵庫県「ひょうご農林水産ビジョン2025」(2016)



10 人と元気が行き交う五国

2030年の姿（拡がる交流）

① 地域資源に磨きがかかり、観光交流人口が拡大

- 洗練された都市、美しい自然景観、温泉、食など多彩な地域資源を生かしたツーリズムが拡大
- 訪日外国人観光客の都市集中から地方分散化が進み、県内各地で外国人観光客が大幅に増加
- 専門人材からボランティアまで幅広いおもてなし人材が活躍
- 基幹道路の整備、大型クルーズ船の受入環境の充実、関西3空港の最大・最適活用など、陸・海・空の交通インフラが充実

② 都市部と多自然地域との交流が拡大

- 空き家・耕作放棄地の活用や基幹道路の整備等が進み、多自然地域への移住や二地域居住が拡大
- 特産品の販路拡大、災害応援の関係づくりなど、地域間の多様な交流活動が拡大し、コミュニティの力が持続

③ 世界との共生が深化

- 県内企業の海外事業展開が拡大するとともに、外国企業や外国人留学生・研究者・技術者等が兵庫に集積
- 防災・環境・先端医療等の分野で国際貢献の先進地が形成
- 外国人県民にも暮らしやすい環境整備や、多言語自動翻訳技術を活用した相互理解が進み、多文化共生が実現



神戸に入居する外国クルーズ客船



県外からの移住



大学と集落の交流